

テーマ（ノートPCの導入による業務効率化）

法人名：社会医療法人芳和会
事業所名：きくよう地域生活支援センター
主な提供サービス：計画相談支援・障害児
相談支援・地域移行支援・地域定着支援

機器導入前の事業所内の状況

◆各自PCは割り当てられていたが、持ち運びが難しく、外出先では紙媒体に記録した上で事業所に戻ってから、PCに転記する必要があり、非効率的だった。

業務の非効率

◆紙媒体を使用した記録及び転記（二度手間）

職員の負担増加

◆同じことを繰り返し行う事で疲労感が強く、時間も取られており、徒労感が強かった。

職場環境の課題
・
・
・

支援の質・量の確保

◆記録に割かれる時間が多く、時間的な余裕もなかった。利用者と交流する時間に制約あり。

人材確保・定着

◆業務の煩雑さから多忙な状況。

テーマ（ノートPCの導入による業務効率化）

機器導入に至ったきっかけ

◆対応件数が増えていくにつれ、書類の作成や記録の負担が増加する一方だった為、どうか効率化できないかを検討し、導入を決定した。

導入した機器

◆モバイルPC

活用方法・活用場面

◆モバイルPCを持ち運び、外出先での入力やデータの閲覧が可能となった。



テーマ（ノートPCの導入による業務効率化）

業務の効率化・生産性向上

◆訪問先にて書類の作成や記録を入力出来るようになったことで、効率的な文書作成が出来るようになった。

職員の負担軽減

◆転記する作業が減ったことで実務的にも心理的にも負担が減っている。

支援の質・量の向上

◆業務効率化に伴い、対利用者と直接かかる時間が以前よりも確保できるようになった。

人材確保・定着

◆人材の確保や定着はこれからだが、現在のやり方以外にも効率化できる方法がないか検討していく事で人材確保や定着に繋がっていくもの考える。

職場環境の改善へ

職員の声や今後の展望等

◆上記のような状況から利用者に接する時間が増えた。今後はAIの活用やクラウド型の支援ソフトの導入や電子署名の活用による更なる業務効率化につなげたい。